

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

「いなぎ市民活動フォーラム2013」 **報告**

## 人と人が出会う まちの縁側づくり

### Part 2

気軽に立ち寄れて安心して居られる場所。昔で言う所の「縁側」のようなモノを稲城で増やす取組み「まちの縁側づくり」をテーマに、「いなぎ市民活動フォーラム2013」が、昨年12月19日に行われました。

今回は、その時の様子や感想について、発表者で編集担当でもある滝澤さんに報告していただきました。

#### 第1部 講演：影山智明氏

### カフェから時代は つくられる？

西国分寺にあるカフェ、クルミドコーヒーは、人とつながる、地域とつながる素敵なカフェとして知られています。

何故 そういう場になっているかということ、よくありがちなお互いの「利」となるものを



▲クルミドコーヒーの  
店主影山さん

金で得る、という「利用しあう関係」を「支援しあう関係」に変える試みを続けているからです。

例えば店とスタッフの関係を例にあげると、労働を時給分のお金と交換するというお互いが「利用しあう関係」というより、店はスタッフの実現したいことを、スタッフは店の実現したいことを「支援しあう関係」であるとしています。

コーヒーに詳しいスタッフは水出しコーヒーのより美味しい入れ方を提案したり、本好きなスタッフはカフェにおく本を時期に合わせて提案したり、得意なことでカフェに良いであろうことをしてくれるのです。

店とお客様の関係だと、イベントをやらせて、チラシを置かせて、という一方的な関係というよりは「このカフェの主旨にあうイベントをやつて、イベントに集まる人とカフェをつなげたい」といった具合です。



その結果、クラシックコンサートや本の出版など色々なことが実現しました。



地域との支援しあうツールに地域通貨「ぶんじ」があります。「ぶんじ」は2012年からスタート、1枚100ぶんじ=100円として市内のお祭り、イベント、カフェやパン屋さんなど4つの店を中心に使えます。

「地域でしか使えない通貨」では、使い勝手が悪い、と思われがちですよね。しかし、「ぶんじ」は目的地（どこで使えるか）より、（2ページに続く）

使用する際の関係に注目すべき点があります。

使用する際にメッセージつきで、というルールがあるのです。例えば、クルミドコーヒーの取引先である地元の農園に野菜代金の一部として「ぶんじ」が使われます。

「美味しいキャベツをありがとう」と「ぶんじ」に書き込まれました。農園では農ボランティアをしてくれる人に対して「草取りありがとう」と書かれた「ぶんじ」と野菜が渡されました。ボランティアをした人がお祭りで使ったり、カフェでコーヒーを飲んだりして「ありがとう」と書かれます。何度か流通した「ぶんじ」には「ありがとう」の表現がいくつも残っています。

本来、仕事にはお金を稼ぐ＝Takeの意味もあるけれど、役にたきたい、喜んでほしい、＝Giveの面もあるはず。このGiveに感動したり、感謝する交換がもっと増えたらいいし、その交換がぶんじを通して目で見られる、というのが楽しいですね。



それだけたくさんの人やアイデア、モノが行き交うカフェ。どうしたらそんなコミュニティに育つのか、そのコツは・・・「コミュニティをつくるうとしないこと」だそうです。確かに、

何か特定の目的で集まり、つながると、つながることが目的を広げる、実現するための手段ばかりになってしまいそうです。「自然な形で人と人がつながっていたら、ある時 したいと思う事、目的が生まれた!というのが楽しいです」と影山さん。

目的があっても、なくても、一人でいたくても、誰かと話したくても、カフェって居心地がいいですね。色々な人が集まって好きなように過ごしているうちに、何かを突き詰める人が現れたり、すごいプロジェクトが始まったり、カフェからワクワクすることが始まるのかも知れないな、と思いました。

## 第2部：プレゼン

「稲城版縁側の紹介」

### まちの縁側が 続々誕生

#### だんらん 向陽台

向陽台5丁目10番地、リベリ向陽台の賃貸集会所2階で、第4土



▲築根さん

曜日13:30～16:00、参加費100円です。

ただし、13:00からボランティアさんが気功を指導して

くれるので、興味のある方はここから参加できます。

14:00からはお茶を飲みながらのトークカフェ。途中、体操など、体を動かす活動もして、グループ替えをして話をし、最後は各グループで話題になったことを紹介しています。

後半からは、地域包括支援センターの担当者も参加して、情報交換や気になることを聞ける時間も設けています。子どもから大人まで気軽に参加できます。

◎連絡先

築根瑞恵 379-2139

坂本美智子 378-7412

#### だんらん 矢野口

月に一度自宅を開放して、老若男女を問わず、誰もが立



▲滝澤さん

ち寄っておしゃべり、お食事できる場所をつくっています。

稲城に既にあつた縁側をいくつか見て回り、「だんらん向陽台」のどこで何をしているか分かりやすいネーミングと、こういう場所が歩ける範囲に一つあるようにしたい、という想いに共感して「だんらん矢野口」という名前にしました。

気負わずに出来る範囲で続けていきます。次回は4月から再開する予定です。

◎問合せ先

hello.arbish@gmail.com(滝澤)

## カフェいしださん家

平尾の石田さん宅を開放して行っています。



原則第3土 ▲石田さん

曜日13:00~15:30、参加費200円です。

簡単な指体操から始まり、ピアノ伴奏で季節の歌などを合唱。麻雀、ウノ、おしゃべりをして過ごし、15:00過ぎからはコーヒーとケーキの時間です。

今回のフォーラムでも、コーヒーを入れてくれました。コーヒーを入れる名人、ケーキが上手な方、お料理する方、と得意を持ち寄って皆でやっているそうです。不定期にお一人様の夕食会もあります。

◎連絡先

378-8757 (支え合う会みのり)

<http://blog.canpan.info/sasaeaukai/>

### 第3部：トークカフェ

## 止まらないほど 対話が白熱

テーマ「今日 印象に残ったこと、何に活かしますか?」を

少人数グループで、メンバーを交代をしながら会話していきました。

会話をしながら、気づいたこと、感じたことを自由にテーブルに敷かれている模造紙にメモしていきます。エチケットとして、議論ではなく対話をする。アドバイスをしたり、答えをまとめたり、ではなく話し手がど



▲井手さん

う思っているか聞き出し、素直に感じたことを述べます。日本人は議論が苦手、と言われるます。でも対話つてすごく弾みんですよ。色々なアイデア、色々な感じ方、自分と違う価値観が

う思っているか聞き出し、素直に感じたことを述べます。

日本人は議論が苦手、と言われるます。

でも対話つてすごく弾みんですよ。色々なアイデア、色々な感じ方、自分と違う価値観が



▲白熱のトークカフェ

こんなにあるんだって、感動しました。

こんなに違いが出てくるのは、対話だからです。これが議論だったら、自分の感じたことを述べる人は少ないでしょう。

ファシリテーター井手さんのもと、トークカフェは白熱し、時間が過ぎても会話が止まらない!井手さんが、最後のあいさつをしているというのに、まだ話していたテーブルは 私のいたところでした! (文: 滝澤)

### カフェ いしださん家が 縁側を再現

フォーラム会場に縁側が再現できたらしいね。そんな願いに応えてくれたのが、カフェいしださん家。

元プロの出浦さんが美味しいコーヒーを煎れてくれました。

お運びはちっちゃなお2人、最後にあいさつに登場すると、2人にこの日1番の拍手が・・・



▲会場後方にできた「カフェいしださん家」



▲あいさつに立つちっちゃなお2人

## 私有空間を活かしたまちづくり

～住宅、庭、緑地を活かす～

花一杯のオープンガーデンがいたるところにあつたら素敵ですね。居場所のよくなカフェが近所にあつてもいいですね。

自分のもっているものを活かして稲城のまち全体がよくなる方法について一緒に考えてみませんか。

どなたでもご参加いただ

けます。

※今回は、市の職員も参加して一緒に理解を深めたいと思います。

◆日時／3月7日（金）

13:30～16:30

◆会場／地域振興プラザ4階

◆講師／後藤智香子氏

※東京大学先端科学技術研

究セン都市保全システム  
分野 客員研究員)

◆参加費／300円

◆申込み／電話またはメールで、下記まで申し込んでください。

人数把握のため、申込みは3月4日（火）までにお願ひします。ただし当日参加も大歓迎です。

◎申込み・問合せ

市民活動サポートセンター

電話：378-2112

メール：info@i-inagi-support.org

### 編集後記

市民フォーラム「まちの縁側づくり」。誰でも立ち寄れる居場所、意外にあるものですね。誰でも、どうぞというスタンスでありながら、場

所や日時などの設定、主催側の個性で、居場所にも個性があります。今回、記事では市内の居場所を3か所ご紹介しましたが、これ以外にもあるんです。色々なところを巡ってみるのも楽しいですよ。  
(滝澤)

## ～フィルムコミッションについて学ぶ～

映像作品の撮影場所を誘致することで、地域の活性化を図っているまちが増えています。

その際にフィルムコミッションという言葉をよく聞かれますが、それは、テレビドラマや映画等の撮影場所を誘致したり、撮影支援を行う機関のことです。

今回は、その実務や業務内容についてみなさんと一

緒に勉強したいと思います。

◆日時／2月26日（水）

18:00～20:00

◆会場／地域振興プラザ4階

◆講師／柴田孝司氏

※たまロケーションサービス代表

◆参加費／無料

◆共催／市民活動サポートセンターいなぎ・稲城市経済課

◎申込み・問合せ

市民活動サポートセンター

電話：378-2112